

28

汚泥受入室臭気対策

汚泥・腐敗臭



汚泥を活用する施設での臭気対策です。汚泥受入の際にダンプから受入れ槽へ汚泥を流す際に強い臭気が放出されます。室内に瞬時に充満する汚泥臭気の処理についてご依頼を頂きました。

→Answer

微細噴霧ノズルを用いて消臭剤を室内に一定時間噴霧するシステムを提案致しました。腐敗臭に特化した消臭剤(S-B1)を用いて一定間隔でノズルを配置し、室内に万遍なく噴霧ミストが行き渡る様設計しました。

効果として、**噴霧前の臭気濃度3,200が噴霧後10分間で1,000(脱臭効率69%)、40分後で100(脱臭効率97%)となり、臭気を大きく低減する結果となりました。**微細なミストを形成する噴霧ノズルで噴霧を行っている為、噴霧時の室内は濃霧の様な状態となりますが、一定時間噴霧が終了すると臭気の低減と共に視界が開けます。

ドライミストの為、噴霧中設備や床が濡れる事ありません。当設備導入後別室での増設についてもご依頼頂き、噴霧ノズルを増設し、同様のシステムでより広い範囲の臭気を対策しています。

>>結果

消臭剤マイクロゲルスプレーシステム

使用消臭剤: マイクロゲルS-B1

○室内容積 : 約500m³(汚泥受入室)、約1,800m³(加工室)

採取場所	臭気濃度・脱臭効率	
噴霧前場内	3,200	3,200
噴霧後場内	1,000(噴霧10分後)	100(噴霧40分後)
脱臭効率	69%	97%



噴霧設備



噴霧操作弁



噴霧の様子1



噴霧の様子2

